

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
 担当課長名：新階 寛恭

事業名	せんりおかねやがわ 千里丘寝屋川線		事業区分	街路	事業主体	大阪府
起終点	自：大阪府寝屋川市仁和寺本町3丁目 至：大阪府寝屋川市高柳2丁目				延長	1.2km
事業概要	一級河川淀川を渡河し大阪北部と東部を結ぶ主要幹線道路であり、大阪府道路整備長期計画において、渋滞が激しい大阪中央環状線と大阪外環状線を補完するための新環状ラインを形成する路線の一つとして位置づけられている。					
H元年度事業化	S30年度都市計画決定 (S56年度変更)	H3年度用地着手	H3年度工事着手			
全体事業費	約215億円	事業進捗率	93%	供用済延長	1.2km	
計画交通量	37,813台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /281億円 (事業費) : /279.7億円 維持管理費 : /1.2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /537億円 走行時間短縮便益 : /511.6億円 走行費用減少便益 : /22.9億円 交通事故減少便益 : /2.9億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	・国土・地域（当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線の構成）					
関係する地方公共団体等の意見	・地元市などから事業の早期整備が望まれている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・混雑度は、減少傾向にあるが依然として混雑している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・再々評価時点において、進捗状況は用地99%、工事65%となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成19年度供用に向けて、事業推進に努める。					
施設の構造や工法の変更等						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	計画交通量：37,813台/日					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。